

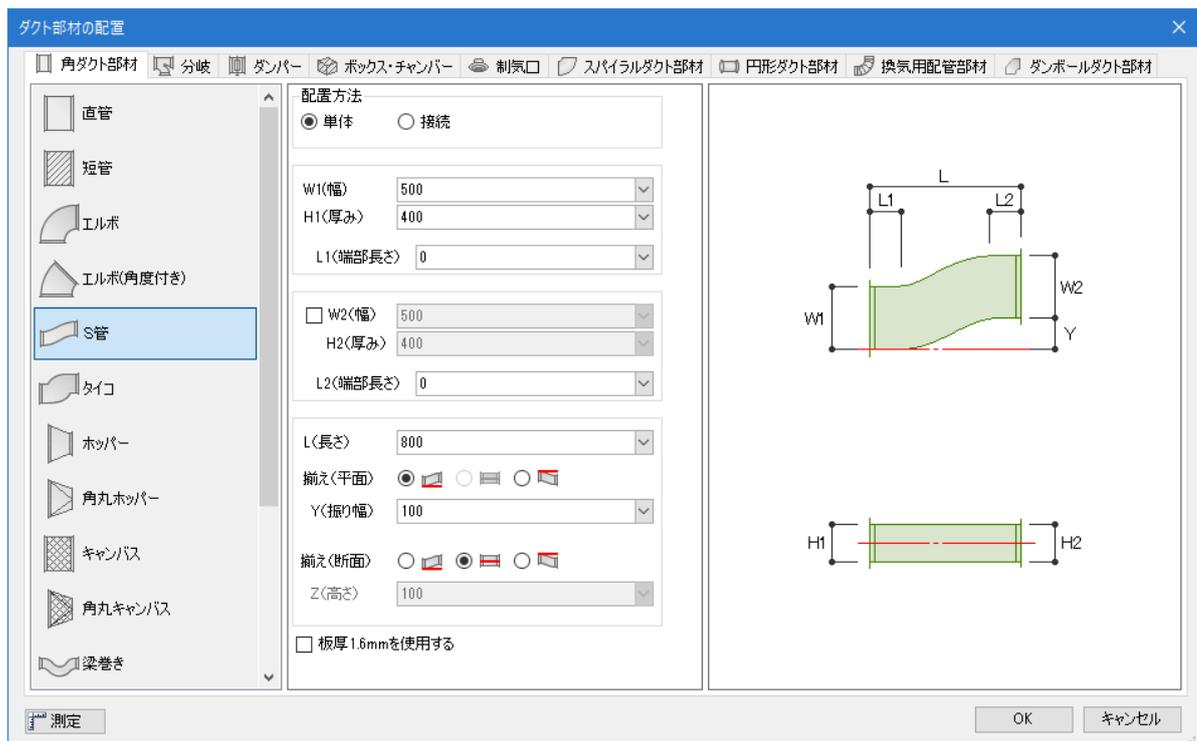
Q ダクトに部材を挿入したい

A [ダクト]タブの[部材]コマンドで挿入します

ダクトに部材を挿入する場合、[ダクト]タブ-[部材]コマンドで部材を選択し挿入します。
ここでは角ダクトに部材を挿入する手順を記載します。

1

[ダクト部材の配置]ダイアログ-[角ダクト部材]タブで挿入する部材を選択し、配置方法やサイズなどを指定します。



○配置方法

単体:パラメータで入力した形状で配置します。

接続:接続位置または、指定した座標位置に合わせた形状で配置します。

○パラメータ

ダイアログ右側のイメージ画像を参考にしながら幅、厚み、長さを設定します。

※ルートの端部に接続する場合や、ルート上に挿入する場合は、ルートの幅、厚みに変わります。

○揃え

平面方向、断面方向の揃えの位置を指定します。

揃えの位置が中心以外の場合、平面方向では「Y(振り幅)」、断面方向では「Z(高さ)」を指定します。

○「板厚 1.6mmを使用する」

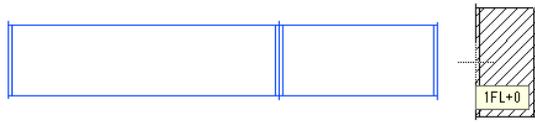
板厚を 1.6mm で設定する場合はチェックを入れます。

2

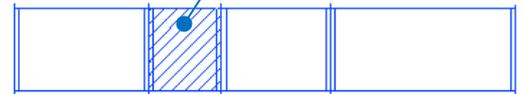
部材をルートに挿入します。
 ※部材のレイヤーと高さは、挿入した角ダクトと同じになります。

○ルート上に部材を挿入する場合(例:短管)

配置方法:[単体]

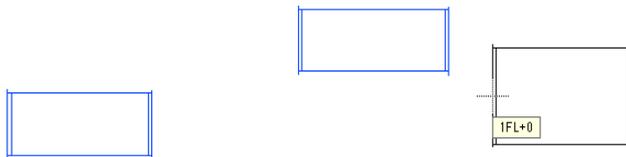


挿入する位置にカーソルを合わせクリックします。

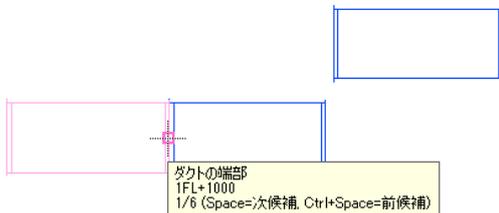


○ダクトとダクトの間に部材を挿入し接続する場合(例:S管)

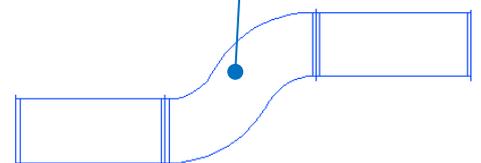
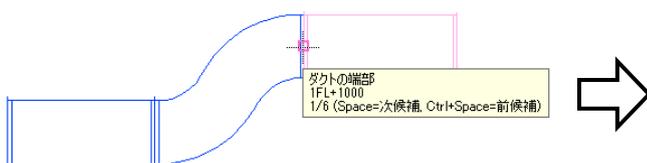
配置方法:[接続]



① 片方のダクトの接続位置でクリックします。



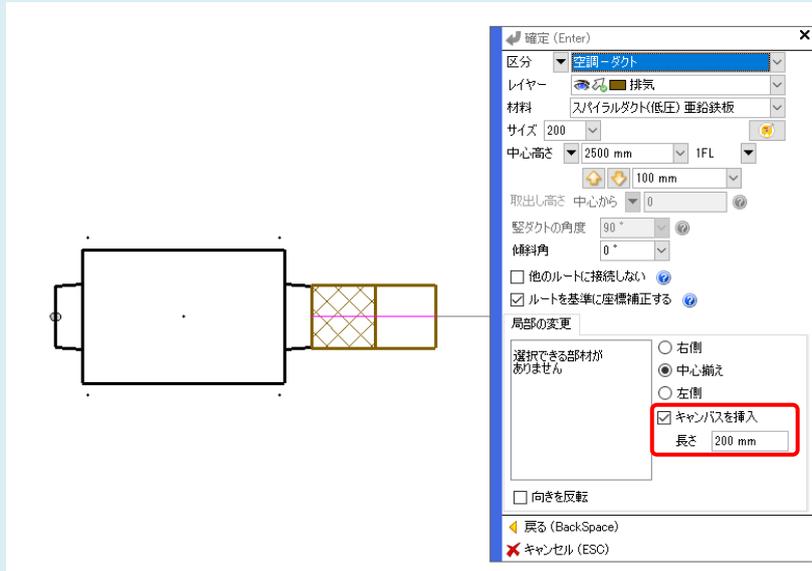
② もう片方のダクトの接続位置でクリックします。



●補足説明

○キャンバス

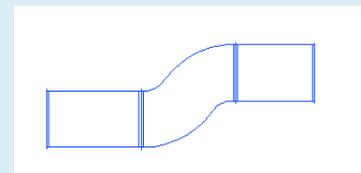
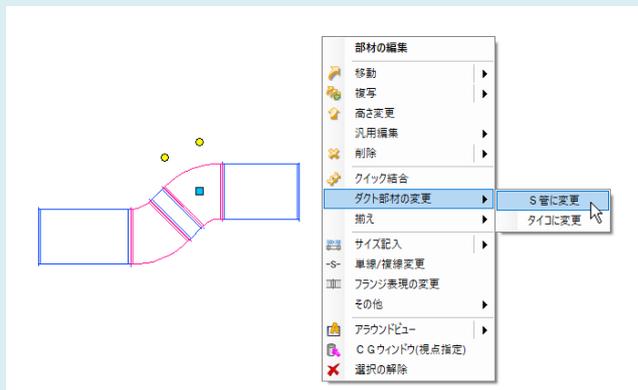
機器からダクトを取り出す際、コンテキストメニューの[局部の変更]から キャンバスの長さを指定して挿入することができます。



OS管

エルボを複数選択し、コンテキストメニューの[S管に変更]で S 管に変更することができます。

角ダクト



スパイラルダクト

